TOKYO-FRANCAIS
春
PRINTEMPS
2026
フランス語
ラテン語
美術史

目次

SOMMAIRE

- 教師紹介 ページ2
- アクセス情報と連絡先 ページ3

- 冬- フランス語で学ぶ 初級ラテン語①（全6回） ページ4
- 冬- フランス語で学ぶ 中級ラテン語②（全6回） ページ5
- 冬 - 中上級フランス語ALTEREGO3+ （全12回） ページ6
- 冬 - フランス語で語る物語（全12回） ページ7
- 冬 - 語源から学ぶフランス語 - 上級コース（全12回） ページ8
- 冬- 中級フランス語ALTEREGO2+（全12回） ページ9
- 冬 -上級フランス語COSMOPOLITE 5（全12回） ページ10
- 冬- アートと歴史 L'ART DANS L'HISTOIRE（全6回） ページ11

TOKYO-FRANCAISの講師たち

LES PROFESSEURS DE
TOKYO-FRANCAIS

ペルワン・フレデリック

学歴

✻ ペルワン先生は、パリの東洋言語文化学院で日本文学、日本文化、そして社会学を学びました。
✻ ペルワン先生は、フランス語教育（FLE）の教授法を専門とされています。

職歴

ペルワン先生は25年間、フランス語とラテン語を、中学生から大学生、大人まで、さまざまな年齢層とレベルの受講生に教えています。2009年には、フランス語教育に関するNHKラジオの番組に出演しました。

ゾリ・アマンディン

学歴

✻ ゾリ先生は、パリ第八大学で中等教育の美術教育の修士号を取得しました。
✻ 国の中等教育教員資格試験（CAPES）にも合格しています。

職歴

ゾリ先生は、フランス語と美術（美術史および実技）を10年以上教えています。フランスの教育省で3年間教えた後、現在は東京の複数の大学でフランス語でも教えています。

アクセス情報と連絡先

INFORMATIONS D'ACCÈS ET DE CONTACT

連絡先

ご質問がございましたら、どうぞお気軽にお問い合わせください : bureau.tokyofrancais@gmail.com

www.tokyo-francais.com

学校のサイトにアクセスし、このリンクをクリックするか、このQRコードをスキャンして、フランス語学習に参加してください。

住所:

ちよだプラットフォームスクウェアでのフランス語講座

〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-21

竹橋駅(東西線)　3B KKRホテル東京玄関前出口より徒歩2分
神保町駅(三田線・新宿線・半蔵門線)　A9出口より徒歩7分

2026年春学期のコース紹介

COURS DE PRINTEMPS 2026

春 - フランス語で学ぶ初級ラテン語①（全6回）

曜日：火曜日（隔週）
時間：10:10〜11:50（休憩時間あり）
講師：ペルワン
授業は：5月19日、6月2日、6月16日、6月30日、7月14日、7月28日

古代ローマの家族を登場人物としたユーモアあふれるテクスト（フィクション）をラテン語とフランス語で読みながら、ラテン語の文法、語彙、会話、さらに古代ラテン文化についても学びます。ラテン語の影響を直接に受けているフランス語の語彙力の復習と向上にも役立ちます。ラテン語を少しかじったことのある方（ラテン語文法の基礎知識のある方）を対象とします。今回はH. ORBERGの『LINGUA LATINA: FAMILIA ROMANA』第13課の途中から始めます。講師の説明は主にフランス語とラテン語となります。

今回はH. ORBERGの『LINGUA LATINA: FAMILIA ROMANA』第13課(DIALOGUES)の途中から始めます。講師の説明は主にフランス語とラテン語となります。

☞教科書『LINGUA LATINA: FAMILIA ROMANA』を使用します。

2026年春学期のコース紹介

COURS DE PRINTEMPS 2026

春 - フランス語で学ぶ中級ラテン語②（全6回）

曜日：火曜日（隔週）
時間：10:10〜11:50（休憩時間あり）
講師：ペルワン
授業は：5月12日、5月26日、6月9日、6月23日、7月7日、7月21日

古代ローマの家族を登場人物としたユーモアあふれるテクスト（フィクション）をラテン語とフランス語で読みながら、ラテン語の文法、語彙、会話、さらに古代ラテン文化についても学びます。ラテン語の影響を直接に受けているフランス語の語彙力の復習と向上にも役立ちます。ラテン語を少しかじったことのある方（ラテン語文法の基礎知識のある方）を対象とします。今回はH. ORBERGの『LINGUA LATINA: FAMILIA ROMANA』第20課から始めます。講師の説明は主にフランス語とラテン語となります。

2026年春学期のコース紹介

COURS DE PRINTEMPS 2026

春 - 中上級フランス語 ALTEREGO3+（全12回）

曜日：木曜日（毎週）
時間：9:00〜10450（休憩時間あり）
講師：ペルワン
期間：5月7日〜7月23日

中上級レベル（B1〜B2レベル）のフランス語能力を習得することを目指します。聞く、話す、読む、書くの4つの技能をバランスよく学び、様々な場面でフランス語を使えるようにします。対象はA2〜B1レベルの方々です。今回は教科書『ALTEREGO3+』の第3課途中からスタートします。講師の説明は主にフランス語で行います。

※A1、A2、B1、B2、C1、C2はCEFR（欧州言語共通参照枠）によるレベル区分です。

☞ 教科書『ALTEREGO3+』を使用します。

2026年春学期のコース紹介

COURS DE PRINTEMPS 2026

春 - フランス語で語る物語（全12回）

曜日：木曜日（毎週）
時間：13:10〜14:50（休憩時間あり）
講師：ゾリ
授業：5月14日〜7月30日

このフランス語のコースは、A2レベルの学生を対象としており、「人魚姫」(PARTIE 2)という物語の世界に浸ることを提案します。この古典的な物語の学習を通じて、学生たちは語彙を豊かにし、文法を向上させるとともに、フランスの文化の側面を発見します。
授業では、テキストの対話型の読み取りが含まれており、主要なテーマや登場人物をよりよく理解するための分析が続きます。学生たちは、フランスで使われる日常表現も学び、実際の文脈でフランス語を理解することができるようになります。
このコースは、フランス語の上達と同時に、フランス文学と文化に没頭する素晴らしい機会です。このコースがあなたにとって充実した、そして刺激的なものになることを願っています。

☞ 物語のテキストと宿題は、PDF形式で生徒にメールで送信されます。

2026年春学期のコース紹介

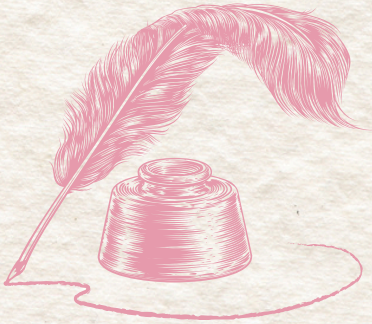
COURS DE PRINTEMPS 2026

春 - 語源から学ぶフランス語 - 上級コース（全12回）

曜日：金曜日（毎週）
時間：10:10〜11:50（休憩時間あり）
講師：ペルワン
期間：5月8日〜7月24日

毎回、特定のテーマを選び、フランス語の語彙をその語源（ラテン語やギリシャ語など）から紹介しています。語源からフランス語の語彙を学ぶことで、語彙のニュアンスや働きをより深く理解することを目指しています。紹介した語彙を実際の簡単な作文や会話で使ってみる練習も行います。講師の説明は主にフランス語で行います。

☞教科書は使用しません。プリントを用意します。



2026年春学期のコース紹介

COURS DE PRINTEMPS 2026

春 - 中級フランス語 ALTEREGO2+（全12回）

曜日：土曜日（毎週）
時間：12:10〜13:50（休憩時間あり）
講師：ペルワン
期間：5月9日 〜7月25日

初中級レベル（A2〜B1）のフランス語能力を身につけるために、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4つのスキルをバランスよく学びます。これにより、日常会話に必要な語彙も習得できます。対象はA1〜A2レベルの方々です。今回は新しい教科書『ALTEREGO2+』の第4の最初からスタートします。授業中の説明は主にフランス語で行います。

※A1、A2、B1、B2、C1、C2はCEFR（欧州言語共通参照枠）によるレベル区分です。

☞ 教科書『ALTEREGO2+』を使用します。

2026年春学期のコース紹介

COURS DE PRINTEMPS 2026

春 -上級フランス語 COSMOPOLITE 5 （全12回）

曜日：土曜日（毎週）
時間：14:10〜15:50（休憩時間あり）
講師：ペルワン
期間：5月9日 〜7月25日

フランス社会、文学、思想に関するテクストを読んだり話したりしながら、上級レベル（C1〜C2）のフランス語能力の習得を目指します。対象はC1レベルの方々です。今回は教科書『COSMOPOLITE 5』の第10の最初からスタートします。講師の説明は主にフランス語で行います。

※A1、A2、B1、B2、C1、C2はCEFR（欧州言語共通参照枠）によるレベル区分です。

☞ 教科書『COSMOPOLITE 5』を使用します。

2026年春学期のコース紹介

COURS DE PRINTEMPS 2026

春 - アートと歴史 L'ART DANS L'HISTOIRE（全6回）

曜日：土曜日（隔週）
時間：16:10〜17:50（休憩時間あり）
講師：ゾリ
授業は：5月16日、5月30日、6月13日、6月27日、7月11日、7月25日

春学期の本講義では、「パリという都市における芸術」をテーマとして扱います。本講義の目的は、受講生がフランスの首都において身近に触れることのできる芸術についてより深く学ぶとともに、フランス文化およびその形成と発展に寄与してきた諸要素について理解を深めることにあります。全6回の講義では、以下のテーマを取り上げます。

「各回の授業計画」

第1回. オスマン様式の芸術
第2回. パリの劇場およびオペラ
第3回. 王政期およびナポレオン時代の庭園と森林
第4回. 諸制度・文化機関
第5回. 大聖堂および教会建築
第6回. 象徴的記念建造物

☞ 先生は授業の開始前にPDF形式の資料を学生に送信します。先生はコピーを配布しませんので、学生はPDFを持参してください。